



皆さんこんにちは！
地域おこし協力隊集落支援担当の渡辺です。



地域おこし協力隊 集落支援担当
わたなべ たかひろ
渡辺 貴洋 隊員

出戸岩屋まつり開催

出戸集落では、毎年9月13日に岩屋虚空蔵尊の祭礼が行われます。

今年も、福島大学の学生や町健康運動推進員の皆さんをはじめ町内外から70人以上が参拝に訪れました。新型コロナウイルスが流行してからというものの、集落行事の存続が危ぶまれる時期もありましたが、ようやく多くの人が参拝に訪れるようになりました。

虚空菩薩像は、町の重要文化財に指定されており、集落から20分ほど山道を歩いた岩窟に祀られています。



▲参拝の様子

初めて参拝した人は、参道や100段以上もある急な坂の石段を上りきる達成感を味わいつつ、年に一度の祭礼を楽しんでいました。

一方で、集落の人口減少や高齢化の影響により集落の人だけでは祭礼の維持が難しくなりつつあります。細く長く祭礼を維持していくために、3年ほど前から自由参拝の形で実施しています。500年以上も前から集落で脈々と受け継がれてきた伝統的な行事ですので、これからも守り継いでいきたいものです。

稲刈り体験

今年の春に植えた青々とした苗も黄金色に色づき、収穫の時期を迎えました。10月上旬に、岩橋集落支援員の指導のもと、東京の大学生や社会創発塾の塾生である社会人の皆さんで稲刈り体験を行いました。

3年目を迎えた今年は、集落の人も合わせて15人が参加し、約6畝の田んぼを手刈りやコンバインを運転して刈り取りました。活動していると、集落の人も見に来てくれて参加者と楽しそうに話している様子が伺えました。

作業後には、昨年作ったお米でおにぎりを握り、田んぼの畦でみんなでおぼりしました。

大学生や社会人が混ざり合っただけの作業でしたが、職業や学んでいる分野が違う人が奥川という土地を介してつながる様子がとても新鮮に感じました。

このような体験を今後も集落で実施し、お互いに楽しみ

ながら交流を図っていければと思っています。

▲奥川稲刈り体験の様子

